

5 平成21年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

平成21年度に中央図書館と17の地域図書館が目標として進めた事業の内容等と評価は次のとおりです。

基本目標：市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを提供します

目標1 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します。

項目	具体的取組(何を、いつまで)	達成状況(平成22年3月31日現在)	指標達成値
1-1 安全で快適な 環境づくり <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">評価 B</div>	①利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。(全館、通年)	職員の打ち合わせ等の中での確認や、対応研修を行うことで親切・ていねいな対応に努めました。	入館者数 8,912,792人 (98.4%) 総図書 貸出冊数 12,002,943冊 (101.1%) インターネットからの予約 冊数 2,222,689冊 (110.9%)
	②館内のレイアウトやサイン等を見直し、わかりやすいフロアや資料を探しやすい書架になるように努めます。(中央 12月、一部の地域図書館)	求めている資料が探しやすくなるように、資料の配架位置の館内レイアウト変更や案内表示を整えました。(中央、一部の地域館)中央図書館で資料数が多い分野については、資料を探しやすいように資料分類の細分化を行いました。(中央、3月)	
	③金沢図書館の耐震補強等工事を実施・完了します。(金沢 10~3月)	耐震補強等工事が年度末に終了し、22年4月2日に再開館します。耐震性の向上を図るほか、書架を増設しトイレのオストメイト化を実現しました。	
	④ホームページでの予約・貸出状況確認においてシングルサインオン*を開始します。(全館)(新規) *ユーザーが一度ログインするだけで、許可されているすべての機能が利用できるようにする仕組み。	シングルサインオンを7月から開始し、一度のログインで予約や貸出状況の確認をできるようにしました。	
	⑤館内における事故や盗難の防止に努めます。(全館 通年)	全館で館内の巡回を強化し、声かけや掲示により注意喚起を行っています。一部の地域館では防犯カメラを設置しています。	
	⑥市民からの提案等を、図書館サービスの向上に活かすように努めます。	「市民からの提案」や、電子メールでの投稿及び各図書館に設置した「意見箱」への投稿などにより、市民からの意見・要望を広く受け付けています。ご意見を受けて、ホームページの改善などのサービス向上に努めました。	
1-2 身近な公共施設での図書の貸出・返却の試行 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">評価 C</div>	①行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどでの図書の貸出・返却サービスを区役所と連携し、試行的に実施します(図書取次サービス)。	青葉区、旭区、戸塚区、緑区と連携し、図書取次サービスを試行実施しました。	
	②新たに金沢区役所と連携し、京急線・金沢文庫駅に返却ポストを設置し、図書返却サービスを円滑に運用します。(通年)(新規)また、図書取次サービスの方針を策定・整理します。	金沢区と連携し、6月1日より金沢文庫駅構内に返却ポストを設置しました。	

取組の評価について

評価は、図書館の内部評価です。()内は、前年度比です。

評価	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果を上げた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果を上げることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。

目標2 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます

項目	具体的取組(何を、いつまで)	達成状況(平成22年3月31日現在)	指標達成値
2-1 市民への 広報の充実 評価 A	<p>①図書館ホームページのコンテンツの充実、分かりやすいホームページ作りに努めます。(通年)</p> <p>②図書館情報紙「@Lib」などを通し、図書館情報の発信に努めます。(通年)</p> <p>③広報よこはま区版で図書館情報を提供します。(一部の地域図書館、通年)</p>	<p>レファレンス事例集の更新やさまざまな調査のミカタ(調べものに役立つ資料・情報)を掲載し、図書館ホームページの充実を図りました。(通年) 特に郷土に関する基本図書や雑誌記事についてキーワード検索ができるページを新設しました。(3月)</p> <p>図書館情報紙「@Lib」を毎月発行し、図書館情報の発信に努めました。また記者発表(42件)、マスコミやミニコミ等での掲載(198件)などを通じ、積極的な情報提供に努めました。</p> <p>広報よこはまの区版に図書館からのお知らせやイベント情報を掲載するほかに、一部の地域図書館では本の紹介も行うなど図書館情報の発信に努めました。</p>	<p>ホームページアクセス数 8,152,936件 (127.6%)</p> <p>蔵書検索ページアクセス数 11,904,715件 (185.5%)</p>
2-2 図書館未利用者への 働きかけ 評価 B	<p>新規登録者を増やすように努めます。(全館、通年) まだ市立図書館を利用していない市民への登録・利用の働きかけに努めます。</p>	<p>図書館の登録を促すため、区役所窓口でのPR表示の設置、地元町内会への回覧、図書館内外での行事での積極的なPRなど様々な試みを行いました(一部の図書館)。これらのさまざまな取組の結果、新規登録者が昨年度と比べ約1.5%増加しました。</p>	<p>新規登録者数 84,608人 (101.5%)</p>
2-3 企画事業の 実施 評価 B	<p>①開港150周年にあわせた所蔵資料の展示や講演会等を行います。(全館、通年)(新規)</p> <p>②市内の大学と連携した市民向け講座を開催し、図書館は情報検索をテーマとした講座を担当します。(中央、9~11月)</p> <p>③地域と連携したイベント・展示等を開催します。(全館 通年)</p> <p>④夏期子ども向け事業や読書週間事業を全館的に実施・広報することでより効果的な事業を実施します。(全館、7月・10~11月)</p>	<p>図書館で所蔵している資料を活用し「ヨコハマ DEKIGOTO展 -開港から150年間の事件簿-」、「横浜の150年 -開港150周年記念連続講演会-」(中央)、「4区の大変貌(チェンジ!)展 横浜市編入70年の歴史」(港北・都筑・緑・山内)など、地域と連携した展示を行いました。また市民参加型事業「ヨコハマの子どもが選んだ150冊」には、夏休みに子どもたちからの「みんなに読んでもらいたい本」が2,620通が寄せられ、その結果を読書週間に市立図書館17館で発表・展示しました。図書館の開港150周年事業は全体で約5.7万人の市民に参加していただきました。</p> <p>大学・都市パートナーシップ協議会、都市経営局と連携し、「よこはま大学リレー講座」全20講座を中央図書館で開催し、1,249人の参加者がありました。情報検索をテーマとした講座を横浜市中央図書館司書が担当しました。(中央、9~11月)</p> <p>区役所等の行政機関や地元の団体・学校・ボランティア等と連携し、行事・展示など実施しました。(13館)</p> <p>夏期に「としょかんで、夏休み わくわくイベント2009」というキャッチフレーズで、子ども向けの企画事業を全館で実施し、広報しました。また、読書週間は「本を手にかき歩こう」というキャッチフレーズで、読書フェスティバルを中央図書館で開催するなど全館でさまざまな事業を実施し、広報をしました。</p>	<p>開港150周年 記念の企画 事業入場者数 約57,000人 (目標40,000 人)</p>

<p>2-4 課題解決に 役立つ 情報の収集・ 提供と 市民の調査 研究支援</p> <p>評価 B</p>	<p>①市民の調査研究支援のためにレファレンス*の推進に努めます。(全館、通年)</p> <p>*利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。</p>	<p>Eメールでのレファレンスを引き続き進め、1年間に1,439件の相談を受けました。(前年度比22.5%増 前年度1,175件) 国立国会図書館協同データベースを利用しレファレンス事例の提供を行い、多数のアクセスがあり、国立国会図書館長からお礼状をいただきました。(11月～)</p>	<p>レファレンス 受付件数 216,424件 (106.7%)</p>
	<p>②目録やパスファインダー*を作成、提供します。(中央、通年)</p> <p>*ある特定のトピックに関する資料や情報を収集する手順を簡便にまとめたもの。</p>	<p>「新型インフルエンザA(H1N1)を調べる」「天文現象を調べる(日食)」「教科書を探す」「幕末・明治の新聞記事を調べる」等のパスファインダーや「自殺について考える」「地球温暖化を考える2009」等のテーマリスト及び目録の作成を行いました。(作成数19)このほか、企画事業に合わせて、開港から150年間のできごと、事件・事故をまとめた「ヨコハマDEKIGOTO資料集」を作成し発行しました。</p>	
	<p>③医療情報、ビジネス資料、外国語本、法情報の各コーナーの資料の充実に努めます。(中央、通年)</p>	<p>新刊を随時、購入・追加するとともに各コーナーの案内チラシを改訂し、関係部署、関係団体及び施設にチラシを配付しました。また「交換図書で知る姉妹都市バンクーバー」展を開催し、寄贈図書や外国語資料の展示をしました。また、医療情報、ビジネス資料、法情報等のコーナーの活動が評価され、文部科学省の「図書館海援隊」プロジェクトに参加し、課題解決に役立つ情報、資料を提供しました。(2月)</p>	
	<p>④課題解決に役立つホームページリンク集を充実させていきます。(中央、通年)</p>	<p>「法情報コーナー テーマ別情報案内」など、暮らしや仕事の中での困りごとの解決に役立つ関連機関のサイトや情報のリンク集をテーマ別に作成しました。</p>	
<p>2-5 地域の 情報拠点化 の推進</p> <p>評価 C</p>	<p>地域情報の収集・発信に努めます。(全館、通年)</p>	<p>郷土資料の蔵書数が全館で約2,500冊増加しました。</p>	
<p>2-6 行政への支援</p> <p>評価 C</p>	<p>市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(通年)</p>	<p>寄贈等により行政資料・地域資料を受入れ、利用に供しました。横浜市政の業務遂行に関しての相談は、1年間に1,375件の相談を受けました。(前年度比▲1.6% 前年度1,398件)</p>	<p>庁内レファレンス数 1,375件 (98.4%)</p>

目標3 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます

項目	具体的取組(何を、いつまで)	達成状況(平成22年3月31日現在)	指標達成値
<p>3-1 児童サービスの 推進</p> <p>評価 C</p>	<p>①児童サービス2か年計画に基づき、年齢別読書プログラムを作成します。(新規)</p>	<p>「横浜国立図書館年齢別読書プログラム」を作成しました。(2月)</p>	
	<p>②児童サービス2か年計画に基づき、学校図書館の運営に関する支援計画を作成します。(全館、通年)(新規)</p>	<p>「横浜国立図書館学校支援事業 学校支援計画」を策定しました。(12月)</p>	

<p>3-2 家庭・地域での読書の支援</p> <p>評価 B</p>	<p>①幼児や親子等を対象としたおはなし会などを通じて、子どもの読書推進や図書館利用を促します。(全館、通年)</p>	<p>幼児や親子を対象とした定例おはなし会や「子ども読書の日」の期間や夏休み期間等での特別おはなし会や図書館体験などの行事を実施することで、子どもたちの読書活動推進や図書館利用を促しています。 また、各区福祉保健センターと連携し乳幼児健診時に全対象者に絵本紹介・図書館紹介パンフレットを配布するなどを行っています。</p>	<p>おはなし会等事業の参加者 24,163人 (121.1%)</p>
	<p>②「子ども読書の日」にちなみ、子どもとその保護者等を対象に読書啓発の事業を実施します。(全館、4~6月)</p>	<p>全館で取り組む事業として、「読書スタンプマラソン」及び、展示会「読んでみようこんな本」を行ないました。読書スタンプマラソンではのべ10,569人の子どもに質問用紙を配布しました。他に、読書感想画展、特別おはなし会、読み聞かせ講座、児童書リサイクルフェアなど、各館で子どもの読書活動推進を目的とした様々な事業を実施し、子どもの読書活動推進の啓発を図りました。</p>	
	<p>③読書週間に、「読書フェスティバル」を開催する(中央図書館)ほか、さまざまな読書啓発の事業を実施します。(10~11月)</p>	<p>読書週間に中央図書館を会場として、市民と協働で「読書フェスティバル」を開催しました。(10~11月)</p>	
<p>3-3 学校教育及び学校図書館への支援</p> <p>評価 C</p>	<p>①司書が「まち」とともに歩む読書活動推進校等に対しブックトーク、学校図書館の整備等に関する案内や助言を行います。(全館、通年)</p>	<p>司書が「まち」とともに歩む読書活動推進校等に対し、読書活動推進や学校図書館の整備等に関する案内や助言を積極的に行ないました。</p>	<p>教職員向け貸出冊数 17,133冊 (112.9%)</p> <p>司書の講師派遣回数 64回(-4回)</p>
	<p>②教職員向け貸出制度、学校向け図書館利用案内の普及に努めます。(全館、通年)</p>	<p>教職員が参加する研修会等において、積極的に図書館の利用案内に努めました。教職員貸出については、のべ719人の教職員に合計17,133冊を提供しました。</p>	
	<p>③司書教諭等学校図書館担当者・学校図書ボランティア向けの研修に講師として司書を派遣します。</p>	<p>司書教諭等学校図書館担当者・学校図書ボランティア向けの研修に64回、司書を派遣しました。</p>	
<p>3-4 読み聞かせ等ボランティアの養成・支援</p> <p>評価 C</p>	<p>①読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施すると共に、子どもの読書活動推進に関わるボランティアの研修会に司書を講師として派遣します。(中央、一部の地域図書館 通年)</p>	<p>横浜市立図書館読み聞かせ等ボランティア養成講座を3コース6講座を実施したほか、旭図書館ではおはなしボランティア養成講座を実施しました。また中央・神奈川・港南・瀬谷・鶴見・緑図書館が独自事業として、読み聞かせボランティア向けの講座を実施しました。緑・山内・都筑図書館では、3館合同の学校図書ボランティア講座の中で実施しました。</p>	<p>読み聞かせ等ボランティア養成講座の受講者 784人 (98.0%)</p> <p>交流会実施館数 13館 (+5館)</p>
	<p>②ボランティア交流会を実施します。(中央、一部の地域図書館 通年)</p>	<p>13館(中央・旭・泉・磯子・神奈川・港南・港北・瀬谷・都筑・戸塚・保土ヶ谷・緑・南)で14回実施しました。</p>	

目標4 これからの図書館を視野においた取組を進めます

項目	具体的取組(何を、いつまで)	達成状況(平成22年3月31日現在)	指標達成値
<p>4-1 山内図書館への指定管理者制度の円滑な導入</p> <p>評価 C</p>	<p>サービスの充実・向上と効率的な管理運営手法として、平成22年度から山内図書館へ指定管理者制度を導入するため、指定管理者の公募、指定、引継ぎ等を行い、円滑な移行を目指します。(通年)</p>	<p>山内図書館の指定管理者を公募、選考、指定しました。平成22年4月から山内図書館では指定管理者による運営が始まりました。</p>	
<p>4-2 図書館運営の第三者評価の検討</p> <p>評価 C</p>	<p>図書館の運営評価について、第三者評価を検討します。</p>	<p>第三者評価導入のための評価基準の基礎検討を実施しました。</p>	

<p>4-3 市民協働の 推進と ボランティア の養成・支援</p> <p>評価 A</p>	<p>①市民との意見交換や協働を行なうための仕組みづくりを、地域図書館においてモデル事業として実施します。(12月)(新規)</p>	<p>市民参加の仕組みづくりのための利用者会議等を5館(泉・港南・港北・都筑・戸塚)で実施しました。</p>	<p>市民の意見を反映した図書館運営の仕組みづくりを実現した館 5館</p> <p>修理等のボランティア養成講座の受講者 300人 (241.9%)</p>
	<p>②移動図書館、障害者支援、団体貸出の各事業において市民との協働を実践します。(中央、12月)</p>	<p>移動図書館事業は、金沢区の巡回場所「八景西」で市民との協働運営を開始しました。(4月)障害者支援事業では、横浜市音訳ボランティア連絡会と今後の協力体制を確認しました。団体貸出では子育て支援施設の登録が増え(8団体)、それぞれの団体の地域に開かれた活動を支援することができました。</p>	
	<p>③区役所、地域団体との共催、支援を通して市民協働を推進します。(全館、通年)</p>	<p>区の事業への参加、地域団体との協力による事業の実施等を通じて、市民との協働の推進を図りました。</p>	
	<p>④修理ボランティア等の養成講座を開催し、養成したボランティアによる活動の機会を提供します。(通年)</p>	<p>図書修理ボランティア養成講座を5館(中央・旭・保土ヶ谷・緑・南)で実施しました。修理ボランティアが継続的に活動している館は8館(中央・旭・磯子・鶴見・保土ヶ谷・緑・南・山内)になります。</p>	
<p>4-4 効率的な図書館運営と 財源確保</p> <p>評価 B</p>	<p>管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。(通年)</p>	<p>積極的に広告事業に取り組み、364万円(前年度約300万円)の財源を創出しました。管理運営経費については節減に努め、528万円(前年度約360万円)の節減を実現しました。また、中央図書館では広告事業を利用し経費の負担なしに、1階及び地下1階に番号案内板を導入しました。(4月)</p>	<p>歳入額 364万円 (+59万円)</p> <p>節減額 528万円 (+163万円)</p>
<p>4-5 多言語利用者 に対するサー ビスの充実</p> <p>評価 C</p>	<p>①多言語利用者に対して館内環境の配慮、PRに努めます。(通年)</p>	<p>多言語利用者にとって使いやすくなるよう書架を工夫しました。(中央、一部の地域館)また区民交流センターまつり(山内)や多言語利用者の多く住む地域の健康診断・団地まつり(泉)など図書館の外でPRを行いました。</p>	
	<p>②外国につながりをもつ子どもたちを対象に図書館見学会等を開催します。(中央、12月)</p>	<p>中国語を母語とする子どもたちの図書館見学会を実施しました。(中央)</p>	

目標5 その他

項目	具体的取組(何を、いつまで)	達成状況(平成22年3月31日現在)	指標達成値
<p>5-1 職員の 職務遂行能力 の向上</p> <p>評価 C</p>	<p>①求められている知識・技能を修得するための各種研修を実施するとともに、外部専門研修へ職員を派遣します。(全館 通年)</p>	<p>内部研修として、新採用職員フォローアップ研修・応対研修・マネジメント研修・郷土資料研修等を実施する他、神奈川県立図書館・神奈川県図書館協会・文部科学省等が主催する外部専門研修に職員を派遣し、職務遂行能力向上に努めました。</p>	
	<p>②AED(自動体外式除細動器)の、緊急時における対応力の向上に努めます。(全館 通年)</p>	<p>職員対象の救命・AED操作研修を引き続き実施しました。</p>	
	<p>③防災訓練を実施します。(年2回)</p>	<p>職員を対象とした防災訓練を各館で2回以上実施しました。(金沢図書館は耐震補強等工事のため除きます)</p>	